

# 「光の広場」の新設と文献抄録委員会の刷新について

光学編集委員長 伊東一良  
文献抄録委員長(関東) 梅田倫弘  
(関西) 菊田久雄

「光学」の文献抄録は日本光学会の前身である光学懇話会創設当初から企画されている伝統あるページであり、最新研究の動向を他の分野の読者にもわかりやすく、短時間に伝えることを目標としてこれまで続けられてきています。また、若手会員で構成される文献抄録委員会の委員にとっても最適な勉強の場となっており、さらに次世代の光学会を担う人材の育成の場ともなっています。そのような状況にある文献抄録委員会ではありますが、インターネットに代表されるように情報社会が高度に発達している現在においては、光学論文の抄録にとどまらず、会員、特に次世代を担う学生および若手の会員にとって有益な情報を積極的に発信する必要性を多くの会員からご指摘いただいております。

そこで、「光学」のA4判化を機会に、光学編集委員会および文献抄録委員会では文献抄録委員会の役割を見直し、次のような刷新案をまとめるに至りましたので、会員各位にお知らせいたします。

- 1) 新しい名称：光科学及び光技術調査委員会
- 2) 新しい役割：「光学」に常設される「光の広場」の掲載記事のうち、次の企画、編集、執筆を担当します。
  - ・「気になる論文コーナー」：従来の文献抄録に相当します。委員のコメントを増やし、著者とのやりとりを掲載するなどの改革を試みます。
  - ・「光学工房」：若手、学生会員に有用な実験技術、実験装置、試料作成方法、専門書、ソフトウェア、特許等について委員会で企画、内容を議論し、執筆します。
  - ・「光探訪」：研究室、研究所訪問記を執筆します。
  - ・ Web Watcher：光学に関連した世界のホームページを紹介します。

これらの4つの企画のうち、「気になる論文コーナー」は基本的に毎月6編を掲載し、残りの3つの企画のうち、毎月いずれか1編を掲載していく予定です。

変わりつつある「光科学及び光技術調査委員会」にご期待ください。